

憲法かえずに政治をかえよう！

かけはし

2018 年 9 月 (108 号)

社会福祉法人山形虹の会
山形虹の会と福祉を良くする友の会

山形県鶴岡市民田字代家田100-1 TEL 0235-25-1131
FAX 0235-25-0810

介護老人保健施設かけはし 内



2018年 平和行進



六月十四日から十八日にかけて、「二〇一八年原水爆禁止国民平和行進」が庄内地域に入りしました。鶴岡田川地区には、六月十六日、庄内町から三川町。十七日、羽黒、藤島、鶴岡。十八日、鶴岡から温海、鼠ヶ関まで行進し、新潟県へと引き継ぎました。

六月十四日から十八日にかけて、「二〇一八年原水爆禁止国民平和行進」が庄内地域に入りしました。鶴岡田川地区には、六月十六日、庄内町から三川町。十七日、羽黒、藤島、鶴岡。十八日、鶴岡から温海、鼠ヶ関まで行進し、新潟県へと引き継ぎました。

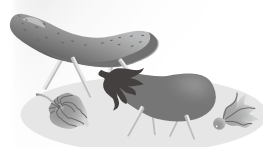


八月二日、老健かけはし二階のデイルームを会場に「供養する会」を開催しました。今年も施設の入居者様、デイケアの利用者様、ご家族、職員、合わせて約九十名が参列しました。当日、大山の永福寺住職・進藤様より

お越し頂きました。住職の「法話」に利用者の方々も聴き入り、「読経」に合わせて利用者一人ひとりが線香をあげ手をあわせました。利用者



供養する会



かけ橋

心配な我が国の原子力発電対策
我が国は広島、長崎に原爆を投下されその威力を経験した国であります。又福島第一原発事故で、原子力により多くの大切なものが破壊され、多くのものを喪失した未曾有の事故となりました。

その日本の政府は今年の七月に原発の再稼働を打ち出しました。閣議決定したエネルギー基本計画において原子力発電を基幹電源に位置付けて再生(風等で)エネルギーを主力電源に育てるとしたものの二〇三〇年度の電源比率を原子力発電と同じ比率となっている様であります。

外国では日本と違い再生エネルギーの拡大に力を入れて原子力発電の比率を下げる目標となっているそうです。欧州連合では再生エネルギーを二〇二〇年までに二〇パーセントにする目標になっているとか、スウェーデンでは再生エネルギーを五十三・八パーセントとしているとか、ドイツも再生エネルギーを脱原発として二〇三〇年には五〇パーセントに切り上げるとしております。

日本での事故をみて、日本とは違い脱原発が世界のながれとなっております。国民の安全を、命を守る考えの政府で、産業界であって欲しいと思います。

介護老人保健施設二階 介護福祉士 小池美穂

貴和

あっという間の4ヶ月 新人インタビュー!!

介護老人保健施設かけはしデイケア
介護職 國井 椿

私は四月に入職したばかりで何をしたらよいのか分からず、ただ業務をこなすという日々が続いていました。わからない事があれば、直ぐに先輩職員に尋ねて教わり、行動するだけの日々を送っていました。そんな私もある日の先輩職員の一言により意識が変わりました。利用者様のケアなどについて分からない事があり、いつも通りに尋ねた所、「直接本人に聞いてみて」と言われました。この仕事は利用者様あつてのものであり、利用者様の心の声に目を向けるのは当たり前のことですが、それまでの私は余裕が無く、なかなか気づく事が出来ませんでした。この事をきっかけに利用者様と積極的に会話することで、多くの情報を得ることができ、利用者様との距離が近づき、自然と笑顔がこぼれるようになりました。



私は四月に入職したばかりで何をしたらよいのか分からず、ただ業務をこなすという日々が続いていました。

介護老人保健施設かけはしデイケア

介護職 國井 椿

特別養護老人ホームかけはし
介護福祉士 金内 瑞生

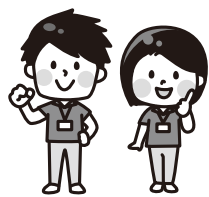
私は四月より特別養護老人ホーム「かけはし北側」の「かとれあ」ユニットに勤務しています。現在「かとれあ」では男性一名、女性九名計十名の入居者様が生活しています。中でも男性のK様とは車の趣味が合い、時間がある時は「何の車が好きか」「どこのメーカーがオススメか」等の会話を楽しんでいます。他の入居者様とも沢山コミュニケーションを図り、入居者様全員が笑顔で生活を送れる環境づくりに力を入れています。知識や技術等未熟な所が多いのですが、精一杯努力していきます。



私は四月より特別養護老人ホーム「かけはし北側」の「かとれあ」ユニットに勤務しています。

特別養護老人ホームかけはし

介護福祉士 金内 瑞生



老人保健施設 一般棟 加茂水族館見学

七月二十日、暑い気温のなか入所者様四名と職員三名、ボランティア一名で加茂水族館に行きました。行きの車の中では、「自分の住んでいる所を通ったのう」等の話し声が聞かれ、久しぶりの外出に喜んでいました。

館内の魚やクラゲ、アシカショーを観てまわり「魚いっぱいいるのう」「クラゲの水槽おっきいですのう」うめつこいのう。」と水族館を満喫し、戻りの車内で「また、来たいの」と話していました。

外出することで、気分転換を図ることができ、利用者様に楽しい時間を過ごして頂くことができました。

介護福祉士 齋藤まどか



グループホームの紹介

グループホームかけはしは、2000年4月に「1丁目」が開設し、2002年11月に「2丁目・3丁目」が開設し、全部で3ユニットで今年で18年目となりました。

正式名称は「認知症対応型共同生活介護」と言われ、一般的に「グループホーム」と言われております。

1ユニット9名で、3ユニット定員27名です。共同生活ですが、居室はすべて個室です。ご自宅から使用している品々をお持ちいただき、安心できる居場所づくりに努めています。家庭的な雰囲気の中で、食事作りや掃除、洗濯等は入居者様の個々の能力を生かした生活を支援させていただきます。

畑作りも取り組んでいます。地域の方にアドバイスを頂き、慣れない職員は入居者から教わりながら、作物の成長



や収穫を楽しんでいます。毎年、秋には収穫祭を開催し、芋煮を作って会食をしています。畑作業にご協力いただける方大歓迎です。

今年も きれいになりました。



六月十一日、昨年に引き続き敷地内の清掃活動を行いました。業務終了後の十七時三十分には役員はじめ友の会役員、法人理事の皆さん総勢十二人が集まり、老健前と道路脇の花壇やその周辺の草むしりに汗を流しました。



の、なかなか計画することが出来ず、結局は雑草が勢いよく茂ったために事前に除草剤を振り、枯葉を片づけることになりました。これからは草むしりだけでなく、四季折々に楽しむことが出来るような管理が必要と考えています。園芸の好きな方のお力添えをお願いします。

法人事務局長
結城弥生

お知らせ

第22回 かけはし祭り

9月12日(水)

友の会市 介護老人保健施設かけはし正面ロビー

10月1日(月) 午前10時～午後2時

11月5日(月) 午前10時～午後2時

介護に関する「不安・悩み」は

かけはしへ

お寄せください。

相談員・ケアマネジャーが
相談に応じます

0235-25-1131



～お詫びと訂正のお願い～

「かけはし」第107号1面の記事に誤りがございましたので、ここにお詫びして訂正申し上げます。

退任役員御氏名

(誤) 太田憲治

(正) 太田慶治